



新富小だより

令和7年
11月28日発行

《本年度の重点教育目標》 **認め合い 支え合い 学び合う子供の育成**

No.8

～認め合い 支え合い 学び合う活動を通して 仲間との関係を深め 子供たちの人間性を高める～

子供のデジタル端末との関わり方

旭川市立新富小学校 校長 工 藤 真

我が家には中1の次男坊がおります。塾や習い事をしていた小学生の頃は、お迎えの連絡や位置情報の確認などのために、「キッズ携帯」を持たせていました。しかし、一昨年からはほとんどのメーカーでキッズ携帯の販売を止めてしまいました。その理由は、スマホ端末が安くなった、子供向けの制限機能が強化された等の理由だそうです。採算の合わないものはどんどん削られるのでしょう。必然的にその端末はスマホに移っていきました。キッズ携帯に比べて多機能なスマホは、ゲームができる、動画が見られる、音楽が聴ける、友達と気軽に連絡が取れるなど、子供たちには飛びつきたくなる機能が山のようにあります。当然我が子もスマホの画面を見る時間は日に日に増えていきました。こうなるとほとんどスマホ依存症です。そこで、スマホを買い与えている親の責任として、スマホと正しく向き合うために、息子と以下のようなことについて話し合いました。

(1) デジタル端末のメリット【なぜ君にスマホを持たせるのか？】

- 連絡手段として、または安全確保のツールとしての機能
- 情報収集や学習のサポートとしての機能
- コミュニケーション力や社会性の向上をねらった機能

(2) デジタル端末のデメリット【なぜ使い方を誤ってはいけないのか？】

- 使う側の心の問題や不適切な行動等の影響
- 健康リスクの影響
- 依存や生活の乱れにつながる影響
- ネット上の危険を察知する力の不足による危機管理の影響

ここで大切なことは、「**子供にスマホを持たせるのは親の責任であること**」です。買い与えた以上はその指導や管理はきちんと親が行うべきです。そのためには、以下のことに留意してほしいと思います。



① 家庭でのルール作り

学校でも、その使い方については指導していますが、ご家庭でも「使う時間帯」「使う目的」「使う場所」「利用時間の上限」「就寝前の時間帯」「保管場所」など、子供と話し合っルールを決めることが大切です。

② デジタルリテラシー（情報を正しく理解し、安全・適切に使いこなす力）の強化

スマホのデメリットの一つである、ネットの危険性・情報の取り扱い・プライバシーの保護・Cyber Safety などについて、児童に適切に教えること。たとえば、「なぜ危険なのか」「どうすれば安全に使えるのか」を理解させることが重要です。

③ スマホを持つ時期の判断

所有を始める年齢が低くなっているという記事を目にしました。全国平均では約10.3歳だそうです。身体的・精神的な発達も考慮し、家庭の状況だけでなく、子供の成熟度（責任感・自制心）や使わせる目的を見極めることが望ましいとされています。

④ 学校・保護者で連携した対応

子供を取り巻く環境は家庭だけではなく、地域や友人関係にも及びます。スマホの「使い方」「安全」「マナー」について、学校と保護者が情報共有することも、大切だと感じます。

デジタル端末（switch や PS5 などを含む）は、適切に使えば学習・安全・コミュニケーションの面で大きな可能性をもっています。一方で、過度の使用や使い方を誤ると、心身の健康や人間関係、生活リズムに悪影響を及ぼす危険もあります。未来はもっと高度になったデジタル端末を扱うこととなり、扱う者の力量が今以上に問われる時代となるでしょう。

ですから、学校としては、「デジタル端末の所持＝全面否定」ではなく、「デジタル端末と正しく向き合う力」を育てることが、これからの児童教育・保護者支援にとって重要な課題だと考えます。これからも保護者の皆様、そして児童の皆さんとともに、「デジタル端末とどう付き合うか」を考えていきたいと思っています。将来の高度なデジタル社会に生きる大切なわが子を今しっかり守れるのは親しかいませんので。

地域からの学び 価値ある体験を

新富小学校区には、学習に活用できる場所がたくさんあります。校外に出かけたり、地域を題材にしたりしながら学ぶことによって、新富っ子の学びが深まっていることを実感しているところです。本号では、各学年での取組の一端を簡単にご紹介いたします。

3年生は社会科の学習で、ふじスーパーへ見学に行きました。スーパーマーケットで働いている人に質問をしながら、お店の工夫や働いている人の思いなどについて学習しました。

4年生は「アイヌ学習プログラム」の学習で、旭川市博物館へ見学に行きました。施設の展示物について、学芸員に解説していただき、アイヌ文様のしおり作り体験も行いました。



↑スーパーの工夫を発見する3年生



↓博物館で学びを深める4年生

来月には、2年生が生活科の学習で学校近隣にある施設（ハート歯科クリニック、桜木治療院、ヘアーサロン小西、ローソン、セブンイレブン、郵便局、タンブリング）を探検する予定です。店の人などにインタビューをしたり、どのような仕事をしているのかを見学したりします。

このように、子供たちは自分が暮らしている地域について深く知るだけでなく、自分も地域の一員としてどのように関わることができるのかを考える機会を得ています。

コロナ禍以降、地域や家庭だけでなく、人々のつながりに変化が生じてきたと言われます。しかしながら、本校には上記のような取組を支え、子供たちにたくさんの経験をもたらしてくれるフィールドがあり、学校に協力的な地域や保護者の皆様があります。とても恵まれた地域であることに對して、改めて感謝の意を表したいと思います。いつもありがとうございます。

地域、家庭、学校のつながりの中で、子供たちが笑顔で学べるよう、これからも学校として力を尽くしてまいりますので、今後とも本校の教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

参観日のお知らせ

既にお知らせしているとおり、12月参観日を下記の日程で実施します。時節柄、何かとご多用のことと思いますが、多数ご参観いただきますようご案内申し上げます。

12月 9日（火）低学年
12月10日（水）中学年
つばさ・ひまわり
12月11日（木）高学年



13:35～14:20 5時間目（授業参観）
14:35～15:00 学年・学級懇談

開校記念日に感謝

12月1日（月）は、新富小学校が開校して67年目を迎える日です。

これまで学校を支えてくださった多くの先人のご尽力に思いを馳せるとともに、学校を大切にする気持ちを表す一日になればと思います。次の時代へ歴史と伝統を継承していく子供たちには、いつまでも新富っ子としての誇りをもち続けてほしいものです。

我々教職員も、子供たちにバトンをしっかりと引き継がせていく使命があるということを肝に銘じ、「地域とともにある学校」を目指してまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



学校評価保護者アンケートのお願い

令和7年度の本校の取組や子供たちの様子について、保護者の皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後の教育活動の改善、充実を図っていきたくと考えております。

下の2次元コードを読み取って、Google フォームからご回答くださいますようお願いいたします。

詳しくは、25日（月）に配付した文書「保護者の皆様による学校評価について」をご覧ください。

大変ご多用とは存じますが、ご理解とご協力をお願いいたします。【回答メ切12月5日（金）】



12月の主な行事予定

1日（月）開校記念日
3日（水）朝の広場 返本週間（～5日）
4日（木）朝の交通安全街頭指導 いじめ防止対策会議
5日（金）フッ化物洗口
9日（火）参観日（低）【通常5時間】
10日（水）参観日（中、つばさ・ひまわり）【5時間】
ひよこ読書（中）
11日（木）参観日（高）【5時間】
12日（金）フッ化物洗口
15日（月）諸費引落日 冬休み図書貸し出し（低）
16日（火）下校指導 冬休み図書貸し出し（中）
17日（水）委員会 冬休み図書貸し出し（高）
ひよこ読書（高）
18日（木）CRT 学力テスト（全）
19日（金）フッ化物洗口
25日（木）2学期終業式【特別日課5時間】
26日（金）冬期休業開始（～1/14）

